

科目ナンバリング		U-LAS01 20020 LJ38							
授業科目名 <英訳>	日本史各論（院政と仏教） Topics in Japanese History (The retired emperor and Buddhism in the early medieval period)			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 横内 裕人				
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	歴史・文明(各論)		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2024・後期		曜時限	月5		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
中世仏教の枠組みが形作られた院政期の仏教の動向について論ずる。 具体的には、院政と仏教との関係を軸にして、特に後白河院の仏教との関わりについて検討する。									
【到達目標】									
日本中世における宗教の役割について、中世京都の成長や政治・社会との関わりのなかで理解する。									
【授業計画と内容】									
授業計画 1．ガイダンス 院政と仏教 2．白河・鳥羽院政と仏教（1） 3．白河・鳥羽院政と仏教（2） 4．仁和寺御室と権門寺院 5．雅仁親王時代 6．即位と信西政権 7．譲位と法住寺殿 8．熊野と日吉社 9．今様と法華経信仰 10．後白河院と側近僧 11．蓮華王院経蔵 12．平氏と千僧供 13．治承寿永内乱と秘密修法 14．東大寺再建と後白河院 15．フィードバック									
【履修要件】									
高校日本史の知識と漢文の読解能力をもっていることが望ましい。授業中必要になる知識については、授業で補足するとともに、テキスト等での自学自習を求める。									
【成績評価の方法・観点】									
平常点評価（出席と参加の状況）25点 定期試験（筆記：評価基準：授業内容を理解しているか）75点 ・4回以上授業を欠席した場合には単位を認めない。									
----- 日本史各論（院政と仏教）(2)へ続く -----									

日本史各論（院政と仏教）(2)

[教科書]

元木泰雄・佐伯智広・横内裕人『京都の中世史2 平氏政権と源平争乱』（吉川弘文館）ISBN: 9784642068611（本書で12世紀の政治史・社会構造・宗教の推移を学びます。）

[参考書等]

（参考書）

上川通夫『平安京と中世仏教』（吉川弘文館）ISBN:4642082832（中世仏教の成立を王権・対外関係・社会の中で論じた労作です。）

美川圭『院政』（中央公論新社）ISBN:4121018672（授業で「読む」ことはしません。本書を授業外で読み、院政の政治構造と政治の推移について予習しておいてください。）

（関連URL）

<http://www.kyoto-arc.or.jp/index.html>(京都市埋蔵文化財センターのHPです。平安京・京都の遺跡についての情報を得てください。)

[授業外学修（予習・復習）等]

予習：該当する時代観とその基礎知識を教科書で予習してください。該当箇所は授業時に指示します。

復習：授業時に配布した参考プリントを読み、各回の論点を各自でまとめること。

[その他（オフィスアワー等）]

- ・漢文史料を使用します。高校で習得する程度の漢文読解能力が必要です。
- ・学習効果を高めるため、履修制限を行います。受け入れ人数は60名とします。